

平成27年国勢調査有識者会議（第1回） 議 事 要 旨

1. 日 時 平成25年6月7日（金）16：00～18：25
2. 場 所 総務省第二庁舎6階特別会議室
3. 出席者
構 成 員：堀部政男座長，太田真嗣委員，大林千一委員，玄田有史委員，菅幹雄委員，
萩原雅之委員，坂東真理子委員，廣松毅委員，藻谷浩介委員
オブザーバー：宮内和宏東京都総務局統計部人口統計課長
今井圭巖岐阜市企画部統計分析課長
田村光大阪市都市計画局企画振興部統計調査担当課長
総 務 省：須江統計局長，會田統計調査部長，奥田統計情報システム課長（事務代理），
岩佐国勢統計課長，村田国勢統計課調査官，小松崎国勢統計課環境整備企画官
（独）統計センター：上田総務課経営企画室長
4. 議 題
 - (1) 平成27年国勢調査有識者会議の設置について
 - (2) 平成27年国勢調査第1次試験調査の結果の概要
 - (3) 平成27年国勢調査第2次試験調査の概要
 - (4) その他
5. 配布資料
 - 資料1－1 平成27年国勢調査有識者会議の開催について
 - 資料1－2 平成27年国勢調査の実施に向けた検討体制の再編
 - 資料1－3 平成27年国勢調査の実施までの検討スケジュール
 - 資料1－4 平成27年国勢調査有識者会議の今後の進め方について（案）
 - 資料2－1 平成27年国勢調査に関する今後の対応について
 - 資料2－2 平成27年国勢調査第1次試験調査の概要
 - 資料2－3 平成27年国勢調査第1次試験調査の結果の概要
 - 資料2－4 平成27年国勢調査第1次試験調査結果報告書
 - 資料3－1 平成27年国勢調査第2次試験調査の概要
 - 資料3－2 平成27年国勢調査第2次試験調査の主要日程
 - 資料3－3 平成27年国勢調査第2次試験調査における民間事業者の実査業務サポートについて
 - 資料3－4 平成27年国勢調査第2次試験調査 事務フロー
 - 資料3－5 平成27年国勢調査第2次試験調査 調査票
 - 資料3－6 オンライン調査デモ PC版電子調査票画面（抜粋）
 - 資料3－7 オンライン調査デモ モバイル版電子調査票画面（抜粋）

（参考）

 - 資料4－1 統計におけるオープンデータの高度化
 - 資料4－2 次世代統計利用システム（API機能の概要と活用事例）

6. 議事要旨

- 開会に当たり、須江統計局長から挨拶
- 会議（WGを含む。）の運営及びスケジュールについて確認
- 事務局から資料に基づいて説明を行い、その後、意見交換が行われた。
- 今回の意見等も踏まえて論点を整理し、企画、環境、広報の各WGにおいて検討を進め、次回の本会議で報告することとなった。
- 参考として、統計情報システム課及び統計センターより、6月10日より試行運用される次世代統計利用システムの紹介があった。

【主な意見】

(1) 平成27年国勢調査第1次試験調査の結果の概要について

- 先行方式の導入によって、オンライン回答が増えることで不詳が減り、より信頼できるデータを得られることから、先行方式を推進してほしい。一方、オンライン回答ができない世帯からは、「同時に紙の調査票も配ってほしい」等の意見が出るのが想定される。
- オンライン回答期限後も、紙ではなくオンライン回答を希望する世帯への配慮が必要ではないか。
- 先行方式による『インターネット回答の利用案内』の配布及びその後の調査票の配布については、原則として、調査員が世帯と面接して配布することとしているが、『インターネット回答の利用案内』の配布時に面接ができた世帯については、調査票配布時に調査員が世帯と無理に面接をしなくてもポストへの投函などで対応が可能ではないか。
- 回収率や情報の精度を上げるという視点とともに、調査世帯側にとってユーザーフレンドリー（使用者が利用しやすいよう配慮すること）であるかという視点も重要。

(2) 平成27年国勢調査第2次試験調査の概要について

- オンライン回答を行う際、第2次試験調査のように回答者がURLを入力することによる方法は、国勢調査をかたる偽のページに誤誘導されるリスクがない反面、ユーザーにとって手間であるため回答率を下げる要因になりうる。
- 検索欄に「国勢調査」と入力することで検索結果に公式サイトがわかりやすく出てくるよう操作したり、大手プロバイダーのトップページに大きく広告（リンク）を掲載して調査サイトへ誘導する等の手法も検討してはどうか。
- 国勢調査は最も基本的な統計調査であり、どんな人でも回答できるよう、漢字の使い方や表現にはできるだけ注意すべきである。
- オンライン回答の設問については、回答者にとって、画面以外の資料を見ることは負担。詳細な説明や必要な用語の定義については、マウスを合わせるとポップアップが出てくるといった、紙では出来ない便利なしくみが出来るところがオンライン調査の魅力である。

<文責：事務局（今後、修正することがあり得ます。）>

以 上